

認知症血液診断研究

(早期認知症患者におけるリン酸化タウ 217 およびニューロフィラメント軽鎖(NFL)の診断基準値探索研究)

アミロイド PET を受ける患者さんへ
【臨床研究へ血液および検査結果提供のお願い】

① 研究の背景と目的

アルツハイマー病は、脳の中にアミロイドベータタンパク質(A β)が溜まることが原因で、脳が少しずつ縮んでしまい物忘れなどがひどくなる病気です。昨年12月、待望の脳の中に溜まった A β を取り除くことができる画期的なお薬が健康保険で使うことができるように承認されました。アルツハイマー病の早い時期にお薬を使うことが大切だと言われています。

現在、脳内の A β の量を調べる検査は、脳脊髄液検査もしくはアミロイド PET があります。より体の負担が少なく、安くできる検査方法を開発することがとても大切です。この研究は、そんな診断方法を開発することが目的です。

② 研究の方法

アミロイド PET の撮影をする当日に採血(20mL)を行います。血液中に含まれるニューロフィラメントおよびリン酸化タウの濃度を測定します。この2つのタンパクは脳の中の A β の量と関係していると言われています。濃度を測定した結果とアミロイド PET などのデータを比較して、関係性を調べます。その結果から、日本人の診断基準となるニューロフィラメントおよびリン酸化タウの値を決めていきます。

③ 研究の対象

医誠会国際総合病院においてアミロイド PET を測定される患者さん

④ 研究期間

2024年6月26日から2026年6月30日まで行われます。

⑤ 研究組織

研究責任者: 工藤 喬 (医誠会国際総合病院 精神神経科 主任部長)

研究分担者: 西尾 慶之 (医誠会国際総合病院 精神神経科)

工藤 輝 (医誠会国際総合病院 精神神経科)

竹田 佳世 (医誠会国際総合病院 精神神経科)

田島 直人 (医誠会国際総合病院 臨床検査部)

鈴木 和実 (医誠会国際総合病院 臨床検査部)

野口 哉太 (医誠会国際総合病院 臨床検査部)

奥田 亜弥 (医誠会国際総合病院 臨床診療部)

⑥ 研究の参加・辞退、詳細情報等について

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、この研究への参加に同意した後いつでも同意を撤回することができます。同意の撤回を希望される場合は、遠慮なく担当医師にお伝えください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【お問い合わせ先】

医誠会国際総合病精神神経科 工藤喬

大阪市北区南扇町 4-14

0570-099-166

第1版 2024年 7月 1日

第2版 2024年 8月 23日